

申請者 所属・職：福祉経営学部・助手
氏 名：松山 純子

論文掲載概要

論文題名	介護福祉士制度導入後の人材マネジメントの現状と課題 - 日本の介護福祉士教育の変遷が韓国に示唆するもの - 장기요양보험제도 도입에 따른 개호인재육성의 현황과 과제
論文著者	松山純子 柳在相
掲載雑誌名	日語日文学研究 第 129 号
掲載雑誌 IF	未付与
掲載ページ	331-359
掲載雑誌 URL	http://www.hanilhak.or.kr/ja/
発行年月日	2024 年 5 月 31 日
雑誌出版社	韓国日語日文学会

論文抄読

1. 概要
- 本研究は、日本の介護福祉士制度の導入後における人材マネジメントの現状と課題を検討し、韓国の介護者教育への示唆を得ることを目的としている。介護市場の競争激化や施設の倒産増加を背景に、介護人材の育成が喫緊の課題とされており、特に介護リーダーの育成と介護職員の経営スキル向上が重要視される状況にある。
2. 方法
- 日本の介護福祉士制度導入の経緯と養成課程の変遷、さらに介護施設管理の現状と課題を分析した。また、資格化プロセスや教育カリキュラムの変遷からその課題を考察し、韓国の長期療養医療制度や高齢者施設の実態を比較しながら検討を行った。
3. 結果
- 介護人材の不足に対応するため、日本では介護リーダーの育成とマネジメントスキル向上に重点を置いたプログラムの導入が進行中である。また、韓国においても同様の課題が存在し、介護人材育成や経営課題の解決に向けた取り組みの必要性が示唆される。
4. 結論
- 日本の介護福祉士制度の経験から得られた教訓を韓国の介護者教育に活かすことで、少子高齢化社会における介護施設の持続可能な経営を目指すことが求められる。そのためには、介護職員のマネジメントスキルを高める教育プログラムの整備が重要であると考えます。